

平成 29 年 12 月 13 日

～まだ見ぬ、景色へ、感動へ～

「北海道 旅きらり」シリーズの展開について

「北海道 旅きらり」は、その季節の北海道ならではの景色をテーマに、これまでの北海道の旅とはひと味違う『きらり』と輝く北海道の旅を紹介する、当社と地域の皆さまが一体となって展開する新たな取り組みです。

シリーズの第1弾として、冬の北海道ならではの風景を厳選し、「北海道 旅きらり 2017 冬」を展開します。

この機会に、冬の北海道の絶景を旅してみませんか。

北海道
旅きらり

まだ見ぬ、景色へ、感動へ。

第1弾「北海道 旅きらり 2017 冬」について

●冬の北海道ならではの景色を厳選

この冬は、美瑛町「冬の美瑛 白金青い池ライトアップ」、稚内市「海に浮かぶ利尻富士」、斜里町「流水原に沈む夕日」をご紹介します。



1. 冬の美瑛 白金青い池ライトアップ



2. 海に浮かぶ利尻富士



3. 流水原に沈む夕日

●地域のご協力をいただき、絶景ポイントまでの交通およびプランをご用意

地域の皆さまのご協力のもと、それぞれの風景をお楽しみいただけるお勧めプランをご紹介します。

●更に特別料金で周遊できる企画や特典もご用意

特別料金の設定や立寄箇所での割引特典などをご用意いたしました。

1. 冬の美瑛 白金青い池ライトアップ



冬の間だけライトアップされる、美瑛町「白金青い池」。白と青のコントラストが幻想的な風景となり、昼間とはまた違う表情を見せてくれます。

最寄り駅:JR 富良野線 美瑛駅

ライトアップ期間:2017/11/1~2018/3/31

【冬の美瑛 白金青い池ライトアップお勧めプランのご紹介】

美瑛町観光協会主催「美遊バス ライトアップコース」

四季の情報館(美瑛駅前) 16:30 発 → 白ひげの滝

または 16:50 発

→ 白金青い池 → ビルケの森 →

四季の情報館(美瑛駅前) 18:40 着

または 19:05 着



○設定日 12月2日~3月31日の土・日・祝日 および 2月5日~9日の毎日

※1月18日~30日も特別に運行します(大人の休日倶楽部バス設定期間)。

○料 金 **おとな 2,500円 小学生 1,000円 (5歳以下無料)**

大人の休日倶楽部会員向け特別料金 おとな 2,000円もご用意しました。

※大人の休日倶楽部特別料金の対象期間は1月6日~3月31日となります。

専用 web ホームページ <http://jrhokkaido.co.jp/tabikirari/>よりお申し込みが必要です。詳しくは専用 web ホームページをご覧ください。

【札幌発着モデルコース】

① 美瑛・旭川宿泊コース

1日目

札幌(14:00 発) → 特急カムイ19号 → (15:25 着) 旭川 (15:33 発) → 普通列車

→ (16:06 着) 美瑛 『美遊バス ライトアップコース』で青い池へ 美瑛泊

【旭川宿泊の場合は 美瑛(19:51 発) → 普通列車 → (20:23 着)旭川 旭川泊】

2日目

午前 美瑛周辺観光(美瑛選果など) 美瑛(11:48 発) → 普通列車 → 旭川(12:20 着)

【旭川宿泊の場合は朝から】 旭川周辺観光(旭山動物園・三浦綾子記念館など)

旭川(17:00 発) → ライラック36号 → (18:25 着)札幌

② 日帰りコース

札幌(14:00 発) → 特急カムイ19号 → (15:25 着) 旭川 (15:33 発) → 普通列車

→ (16:06 着) 美瑛 『美遊バス ライトアップコース』で青い池へ

美瑛(19:51 発) → 普通列車 → (20:23 着) 旭川 (21:17 発) → 特急オホーツク4号

→ (22:53 着) 札幌

2. 海に浮かぶ利尻富士



日本最北端の百名山。利尻島にある利尻山はその姿から利尻富士と呼ばれ、北海道本島から眺める姿はまるで海に浮かんでいるかのようです。

最寄り駅:JR 宗谷本線 稚内駅

【海に浮かぶ利尻富士お勧めタクシープランのご紹介】

このタクシープランは、「きた北海道広域観光周遊ルート地域観光創出事業」(実施主体:北海道観光振興機構)の補助金を活用しているため、大変お得な料金でご利用いただけます。

※宗谷地域タクシー貸切料金の目安は4時間半で小型1台/約 28,000 円。

宗谷観光連盟主催「タクシーで行くスローな宗谷」

宗谷岬 & 稚内市内の観光スポットと海の幸ショッピングを楽しむ半日周遊ルート

稚内駅等市内 11:30 発 → ノシャップ岬 海に浮かぶ
利尻富士 → 稚内副港市場 → 丸善マリギフト店 →
宗谷岬 → 稚内駅等市内 16:00 着



☆稚内副港市場

お食事・お買い物のほかにも、昭和の稚内の街並みを楽しみながら稚内の歴史を学べるスポットとなっています。

○設定日 3月11日(土)までの毎日。

○料金 **1台 5,000円 (4名さまご利用の場合は1名あたり 1,250円)**

専用 web ホームページ <http://jrhokkaido.co.jp/tabikirari/>よりお申し込みが必要です。詳しくは専用 web ホームページをご覧ください。

○大人の休日倶楽部会員向け特典:上記タクシープランにご参加の大人の休日倶楽部会員は、稚内副港市場、丸善マリギフト店にて会員証提示で特典を受けられます。

【札幌発着モデルコース】

1日目

札幌(12:00 発) → 特急ライラック 15 号 → (13:25 着)旭川(13:35 発) →
特急サロベツ 1 号 → 稚内(17:21 着) 夕食で宗谷の食を満喫 稚内泊

2日目

『タクシープラン 宗谷岬 & 稚内市内の観光スポットと海の幸ショッピングを楽しむ半日周遊ルート』でノシャップ岬にて海に浮かぶ利尻富士を見ます。

稚内(17:46 発) → 特急宗谷 → 札幌(22:57 着)

【宗谷本線沿線車窓トピックス】

宗谷本線の窓の外には悠々とした天塩川の四季が流れていきます。冬は結氷した天塩川がご覧いただけます。

また、3月下旬には川面の氷が解け、流れ出て行く様子も車窓からの風景としておすすめです。

(写真は雄信内～安牛)



3. 流氷原に沈む夕日



シベリアから遠く 1,000km を旅して、オホーツク海側に接岸する流氷。知床半島ウトロでは、1月下旬から2月にかけて流氷原に沈む夕日が見られます。

最寄り駅:JR 釧網本線 知床斜里駅

【網走⇄知床斜里⇄ウトロ間のアクセスについて】

網走⇄知床斜里⇄ウトロ間のアクセスは、下記のご利用が便利です。

- ①知床エアポートライナー(1日3往復)又は知床線(1日4往復)

■お問合せ/斜里バス:TEL 0152-23-0766 網走バス:TEL 0152-43-4101

- ②ひがし北海道エクスプレスバス(1日1往復)

■お問合せ/ひがし北海道エクスプレスバス個人予約センター:TEL 011-806-0212

【流氷原に沈む夕日 お勧めプランのご紹介】

シンラ(知床ナチュラリスト協会)主催「ロケーションガイド」

ネイチャーガイドが、その季節、その日、その時間の最高のロケーションへご案内させていただくプラン。

いくつかのビューポイントをご案内し、眺望や撮影をお楽しみいただけます。

ウトロ地区 14:00(12~1月)頃発 → 『ロケーションガイド』 → ウトロ地区 15:30 頃着

※15:00(2月)頃発、16:00(3月)頃発

○設定日 12月上旬~3月下旬までの毎日。

○料 金 **おとな 3,100円 こども 1,500円**

○大人の休日倶楽部会員向け、体験型アクティビティ「ロケーションガイド」特別料金を設定します。

「ロケーションガイド」大人の休日倶楽部会員向け特別料金 おとな 2,800円。

■お問い合わせ/シンラ(知床ナチュラリスト協会)TEL0152-22-5522

※3歳以上の参加となります。 ※ウトロ地区各ホテルより送迎がございます。

※悪天候などにより中止となる場合がございます。

専用 web ホームページ <http://jrhokkaido.co.jp/tabikirari/>よりお申し込みが必要です。詳しくは専用 web ホームページをご覧ください。

【その他お勧めプランのご紹介】

シラ(知床ナチュラリスト協会)主催「流氷ウォーク」

ネイチャーガイドと流氷が押し寄せるオホーツク海へ、専用のドライスーツを着て流氷の上をウォーキングするプランです。

ウトロ地区 15:15 頃発 → 『流氷ウォーク』 → ウトロ地区 16:45 頃着

参考)ウトロ付近日没時刻: 1/20→16:13 2/1→16:30 3/1→17:08 (国立天文台 HP)

○設定日 2月1日(土)～3月下旬までの毎日。

○料 金 **おとな 5,100円 こども 2,600円**

○大人の休日倶楽部会員向け、体験型アクティビティ「流氷ウォーク」特別料金を設定します。

「流氷ウォーク」大人の休日倶楽部会員向け特別料金 おとな 4,600円。

■お問い合わせ／シラ(知床ナチュラリスト協会)TEL0152-22-5522

※料金には、保険料、ドライスーツレンタル料が含まれます。

※小学生以上の参加となります。※ウトロ地区各ホテルより送迎がございます。

※悪天候などにより中止となる場合がございます。

※流氷ウォークは、上記以外のスタート時間の設定もございます。

詳しくは、専用 web ホームページ <http://jrhokkaido.co.jp/tabikirari/> をご覧下さい。

網走流氷観光砕氷船「おーろら」

厚さ1mほどの流氷を砕いて進む網走流氷観光砕氷船「おーろら」。船底が氷塊にぶつかり、船全体が震動する迫力は圧巻。

網走港オーロラターミナル発 所要時間60分

出航時間は時期により異なります。ご確認の上、ご予約下さい。

○運航日 1月20日(土)～3月31日(土)までの毎日。

○料 金 **おとな 3,100円 こども 1,500円**

○大人の休日倶楽部会員向け、流氷砕氷船「おーろら」特別料金を設定します。

大人の休日倶楽部会員向け特別料金 おとな 2,970円。

■お問い合わせ／道東観光開発 TEL0152-43-6000

※悪天候などにより欠航となる場合がございます。

詳しくは、専用 web ホームページ <http://jrhokkaido.co.jp/tabikirari/> をご覧下さい。

知床流氷フェス

冬期閉鎖しているキャンプ場を舞台に体験型のイベント「第2回 知床流氷フェス 2018」が開催されます。知床特製の飲食の提供、アイスバー(氷と雪で作られたドーム状のかまくらで特製ドリンクの提供)の設置などイベント盛りだくさんです。

○開催日 1月30日(月)～2月28日(火)

○料 金 **500円(小学生以上)**

○大人の休日倶楽部会員向け特別料金:参加費無料。

■お問い合わせ／知床斜里観光協会 TEL0152-22-2125

【札幌発着モデルコース】

1日目

札幌(6:56 発) → 特急オホーツク1号 →
(12:18 着) 網走 網走市内観光

流水観光砕氷船おーろら乗船など

2日目

網走(9:45 発) → 流水物語号(※運転日 2/3-3/4)
→ (10:40 着) 知床斜里(11:30 発) → 斜里バス →

(12:20 着) ウトロ ロケーションガイド・流水ウォークで流水原に沈む夕日へ ウトロ泊

3日目

ウトロ(9:00 頃発) → ひがし北海道エクスプレスバス ウトロ/標茶号 → (12:30 頃着) 標茶
標茶(14:00 発) → SL 冬の湿原号(※運転日 1/27-28.2/3-13.16-20.23-25) → (15:40 着) 釧路
釧路(16:14 発) → 特急スーパーおおぞら10号 → (20:15 着) 札幌



【釧網本線沿線車窓トピックス】

流水物語号(網走～知床斜里間)

知床連山を彼方にのぞみ、流氷に覆われた
オホーツク海を眺めながら列車は進みます。



流水物語号

SL冬の湿原号(釧路～標茶間)

白銀の釧路湿原を進み、タンチョウが見られる
ことも。下り列車では雄大な自然の中で幻想的
な夕日が見られます。



SL冬の湿原号

☆沿線地域からのちょっぴりプレゼント

(2/5-9,13,16,19,20,23)

標茶 → 釧路 間(SL 冬の湿原号下り)限定
で沿線地域からの「ちょっぴりプレゼント」を
配布し、ご乗車の皆様をおもてなしいたします。



流水物語号(写真は浜小清水～止別間)



SL冬の湿原号(茅沼～塘路間)

- ・写真はすべてイメージです。また、天候等の条件により、ご覧いただけない場合があります。
- ・詳しくは専用 web ホームページをご覧ください(<http://www.jrhokkaido.co.jp/tabikirari/>)。専用 web ホームページは 2017 年 12 月 25 日より公開予定です。
- ・次回は 2018 年度夏編を展開する予定です。

【参考】 地域とともに次代の北海道観光を創る JR 北海道の営業施策

JR 北海道では観光開発による積極的な地域貢献と鉄道利用促進のため、地域との協業によって観光素材の発掘を行い、その商品化および宣伝・販売促進により、さらなる観光流動の創造を目指してまいります。

1. ～地域再発見ツアー～ 「まちもの語り」シリーズ 展開

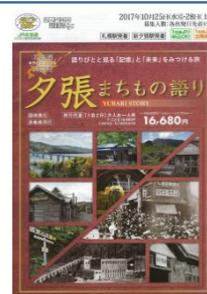
「まちもの語り」は、各地域の歴史や産業と密着する「まちのたからもの」を、その土地にゆかり深い「語りびと」が「もの語り」としてご案内するツアー

(1) シリーズの特長

- ①地域ごとにテーマを設定し、地域がもつ観光素材の特性を活かす
- ②現地観光ガイドとも連携した企画としていく

(2) 実施内容

- ①「北海道まち・こと・ひと再発見『夕張まちもの語り』」
- ②実施日:平成 29 年 10 月 25 日～26 日 および 平成 29 年 10 月 28 日～29 日
※おかげさまで両日も満席で終了しております。



2. ～まだ見ぬ、景色へ、感動へ～ 「北海道 旅きり」シリーズ 展開

その季節の北海道ならではの景色をテーマに、これまでの北海道の旅とはひと味違う『きり』と輝く北海道の旅を紹介。

(1) シリーズの特長

- ①これまでも知られてはいるが、北海道ならではの自然現象等を「この時期・この場所・このタイミング」といったピンポイントで、地元がオススメする極上スポットとして紹介。
- ②「地元は知っていたが、観光素材としての可能性を秘めた現象」に光をあて、新たな観光素材として提案。

(2) 実施内容

- ①「北海道 旅きり 2017 冬」
- ②展開期間:平成 29 年 12 月 25 日 (web ホームページオープン日)～平成 30 年 3 月 31 日



ロゴマーク



web ホームページイメージ